原田英語の英検２級・準１級・１級ファイナルチェックリスト ／ 完全版

英検準1級 二次（面接） ファイナルチェック

黙らず、4コマ目まで言い切った人が受かる

https://www.haradaeigo.com/final-check/#/g/pre1/2ji

これだけは絶対

1 **4コマ目の結末まで言い切る**
ナレーションは配点の目安15点の山場。最初の文から過去形で、時間表示を入れ、4コマ目の結末と表情まで必ず言う。

2 **No.1はI'd be thinking**
4コマ目の人物になりきり、引用の中は現在形の心の声。「反応」＋「反省か次の一手」の2文で答える。

3 **3秒以上黙らない**
アティチュードは入室から退室まで。考えるなら Let me see.、聞き取れなければすぐ聞き返す。沈黙が一番の失点。

目から鱗

✕ ~~吹き出しは間接話法でないと減点~~

○ **直接話法でも話は伝わる。止まる方がずっと損**

言い換えに詰まったら He said to his wife, "…" と吹き出しをそのまま読んで先へ進む。

✕ ~~No.1は「彼は～と思っている」と答える~~

○ **主語は I。その人になりきって答える**

I'd be thinking, "I should have …" と、引用の中は今の心の声で2文。

✕ ~~聞き返すと減点される~~

○ **黙る方がずっと痛い。聞き返しも会話力**

Could you repeat the question, please? は1問1回までが安全。迷ったら即使う。

✕ ~~No.4は自分の経験を話せばいい~~

◯ **求められているのは社会全体の視点**

people／companies／the government を主語に、社会への影響と具体策を言う。

✕ ~~意見は本心で答えないといけない~~

◯ **どちらの立場でもいい。見られるのは英語と中身**

理由と具体例がすぐ浮かぶ側を選ぶ。本心でなくてOK。

✕ ~~考える1分はメモを取りながら~~

◯ **面接中はメモ禁止（公式）**

カードを見ながら頭の中だけで組み立てる。見る順番を決めておけば十分間に合う。

✕ ~~1分の準備は1コマ目から順に決める~~

◯ **1コマ目の出だしはカードに書いてある**

先に4コマ目の結末と表情を決める。結末が言えないのが一番の失点。

✕ ~~難しい単語を使うと差がつく~~

◯ **差がつくのは時制と話法の正確さ**

過去形・時間表示・told 人 to ～ などの変換を正確に。単語は知っている語で十分。

入室〜退室の台本（約8分）

面接委員のセリフとあなたの返事を、最初から最後まで台本にした。次に何が来るかが全部わかれば、緊張は半分になる。

★ 流れは7つだけ

入室・あいさつ → **自由会話** → 問題カード → **考える1分** → **ナレーション2分** → **No.1〜No.4** → カード返却・退室。流れが頭に入っていれば、あとは中身に集中するだけ。

控室で面接カードに記入。係員の案内で面接室の前の席へ。呼ばれたらドアをノックして入る。

あなた

May I come in?
入ってもよろしいですか。

面接委員

Yes, please come in.
はい、どうぞ。

あなた

Hello.
こんにちは。

面接委員

Hello. Can I have your card, please?
こんにちは。カードをいただけますか。

あなた

Sure. Here you are.
はい、どうぞ。

面接委員

Thank you. Please have a seat.
ありがとう。お座りください。

あなた

Thank you.
ありがとうございます。

面接委員

My name is Emily Clark. May I have your name, please?
私はエミリー・クラークです。お名前をうかがえますか。

あなた

My name is Yuki Tanaka.
田中由紀です。

面接委員

Thank you, Ms. Tanaka. This is the Grade Pre-1 test. OK?
ありがとう、田中さん。これは準1級の試験です。よろしいですか。

あなた

Yes, that's right.
はい、そうです。

ここから自由会話。声を温める時間。答え＋1〜2文で返す。

面接委員

How did you come here today?
今日はここまでどうやって来ましたか。

あなた

I came here by bus. It took about thirty minutes, and I listened to some English on the way.
バスで来ました。30分ほどかかって、途中で英語を聞いていました。

面接委員

I see. Could you tell me a little about your job?
なるほど。お仕事について少し教えてもらえますか。

あなた

Sure. I work at a travel agency in Nagoya. I plan tours for visitors from abroad, so I use English almost every day.
はい。名古屋の旅行会社で働いています。海外からのお客様向けのツアーを企画しているので、ほぼ毎日英語を使います。

面接委員

That sounds interesting.
おもしろそうですね。

あなた

Thank you. It's busy, but I really enjoy it.
ありがとうございます。忙しいですが、とても楽しんでいます。

面接委員

Now, let's begin the test. Here's your card.
では、試験を始めましょう。これがあなたのカードです。

あなた

Thank you.
ありがとうございます。

面接委員

You have one minute to prepare before you start your narration.
ナレーションを始める前に、1分間の準備時間があります。

勝負の1分。メモは禁止なので頭の中で。最初の文で筋をつかむ → 4コマ目の結末 → 吹き出しの型 → 時間表示と出だし、の順に決める（「ナレーション」セクション）。

面接委員

All right. Please begin your narration. You have two minutes.
では、ナレーションを始めてください。時間は2分です。

あなた

One day, a man was talking with his wife about how crowded the trains were.

ある日、男性が妻と、電車がどれほど混んでいるかについて話していました。

カードの最初の文をそのまま読んでスタート。4コマ目まで過去形で語り切る（模範は「ナレーション」セクション）。

面接委員

All right. Now, I'll ask you four questions.
では、4つの質問をします。

面接委員

Please look at the fourth picture. If you were the man, what would you be thinking?
4番目の絵を見てください。もしあなたがこの男性なら、何を考えているでしょうか。

あなた

I'd be thinking, "I should have bought that raincoat at the shop. Now I'll have to take the crowded train again."
「お店であのレインコートを買っておくべきだった。これでまた満員電車に乗らなきゃいけない」と考えていると思います。

面接委員

Now, Ms. Tanaka, please turn over the card and put it down.
では田中さん、カードを裏返して置いてください。

あなた

All right.
わかりました。

ここからカードは見ない。No.2・No.3 はカードの話題に関連した質問、No.4 は社会性のある質問。

面接委員

Do you think more people will cycle to work in the future?
今後、自転車で通勤する人は増えると思いますか。

あなた

Yes, I think so. Cycling is good for people's health, and it costs almost nothing. Also, more cities are introducing bike-sharing services, so people can cycle without owning a bike.
はい、そう思います。自転車は健康に良く、お金もほとんどかかりません。また、シェアサイクルを導入する都市が増えているので、自転車を持っていなくても乗れます。

面接委員

Do you think companies should let their employees choose when they start and finish work?
会社は社員が始業・終業の時刻を選べるようにすべきだと思いますか。

あなた

Yes, I think so. If workers could choose their own hours, they could avoid crowded trains. For example, parents could start work early and pick up their children in the afternoon.

はい、そう思います。働く人が自分で時間を選べれば、満員電車を避けられます。たとえば、親は早めに働き始めて、午後に子どもを迎えに行けるでしょう。

面接委員
Should cities create more bike lanes, even if it means less space for cars?
車のスペースが減るとしても、都市は自転車レーンをもっと作るべきですか。

あなた
Yes, I think so. Bike lanes would make roads much safer for cyclists. In the short term, some drivers might complain, but in the long run, fewer cars would mean less traffic and cleaner air.
はい、そう思います。自転車レーンがあれば、自転車に乗る人にとって道路はずっと安全になります。短期的には不満を言うドライバーもいるかもしれませんが、長い目で見れば、車が減って渋滞も減り、空気もきれいになるでしょう。

面接委員
All right, Ms. Tanaka. This is the end of the test. Could I have the card back, please?
では田中さん、これで試験は終わりです。カードを返していただけますか。

あなた
Sure. Here you are.
はい、どうぞ。

面接委員
Thank you. You may go now.
ありがとう。退室していいですよ。

あなた
Thank you very much. Goodbye.
ありがとうございました。失礼します。

ドアの前で軽く会釈して退室。廊下に出るまでが面接のつもりで、最後まで笑顔で。

自由会話：想定質問と返し方

自由会話は声と気持ちを温める時間。答え＋1〜2文 で止めれば、長すぎず短すぎない。自分が話しやすい方向に少し寄せて答えてOK。

面接委員
How are you today?
今日の調子はどうですか。

あなた
I'm a little nervous, but I'm fine, thank you.
少し緊張していますが、元気です。ありがとうございます。

緊張を正直に言ってOK。自然な会話になり、肩の力も抜ける。

面接委員
Could you tell me a little about yourself?

あなた自身のことを少し教えてもらえますか。

あなた

Sure. I'm a second-year high school student. I'm in the science club, and I'm especially interested in environmental issues.
はい。高校2年生です。科学部に入っていて、特に環境問題に興味があります。

面接委員

What do you do in your free time?
空いた時間には何をしていますか。

あなた

I like cooking. Recently, I've been trying recipes from different countries, and last week I made Thai curry for my family.
料理が好きです。最近はいろいろな国のレシピに挑戦していて、先週は家族にタイカレーを作りました。

現在形（習慣）→ 現在完了進行形（最近）→ 過去形（具体的な出来事）。時制の幅が自然に見せられる。

面接委員

Why are you taking this test?
なぜこの試験を受けているのですか。

あなた

I'd like to study abroad in the future, so I want to improve my English. I'm planning to take an English course this summer, too.
将来留学したいので、英語力を伸ばしたいです。この夏には英語の講座も受けるつもりです。

最後を未来のひと言で締めると、面接委員も次の質問をしやすい。

1 1文目で答えを言い切る
前置きはいらない。聞かれたことにまず1文で答え、頻度・誰と・最近の出来事のどれかを1つ足す。

2 指示にはひと言返してから動く
カードを裏返す・返すなどの指示には、ひと言返してから動くとやりとりが途切れない。

> Please turn over the card. → All right.

3 相手のひと言に反応する
面接委員が That sounds nice. などと返したら、Thank you. と笑顔で受ける。

次に何が来るか知っている人は、もう半分勝っている。

4コマのナレーション（考える1分・話す2分）

面接の山場。考える1分で何を決め、2分でどう話すか。型と模範で最後の確認をしよう。

★ 最初の文から・過去形・時間表示・4コマ目まで

カードの **最初の文をそのまま読んで** スタート。各コマ **2〜3文**、ぜんぶ **過去形**。時間表示のあるコマは **その語句から始める**。4コマ目の結末と表情まで必ず言い切る。

考える1分の使い方（メモ禁止・頭の中で）

1. **0〜10秒：最初の文とタイトル**
   誰が何をしようとしている話かをつかむ。人物の呼び方（the man／his wife など）もここで決める。
2. **10〜25秒：4コマ目を先に決める**
   何が起きて、人物がどんな表情か。原因が前のコマ（店員の申し出・テレビ・カレンダーなど）に描かれていないかも探す。
3. **25〜45秒：各コマの動詞と吹き出しの型**
   1コマにつき動作の動詞を1つ。吹き出しは told 人 to 〜／asked if 〜／suggested that 〜 のどれで言うかだけ決める。
4. **45〜60秒：時間表示と出だし**
   2〜4コマ目の時間表示を確認。最後の5秒で、最初の文と1コマ目の2文目を頭の中で言ってからスタート。

なぜ効く？ 見る順番が頭を空ける

メモなしで4コマを組み立てると、頭の作業台（ワーキングメモリ）はすぐいっぱいになる。見る順番を先に決めておけば「次に何をする？」に使う容量が減り、その分を絵の中身と英語に回せる。

Baddeley & Hitch（1974）ワーキングメモリ／Sweller（1988）認知負荷理論

吹き出しの変換表

吹き出し	型	例
I'm ～.（ふつうの文）	told 人 (that) ～	He told his wife that he was tired.
Please ～.（お願い・指示）	asked／told 人 to ～	She asked her son to clean his room.
Don't ～.（禁止）	told 人 not to ～	He told his son not to touch the stove.
Is there ～?（Yes/No疑問）	asked (人) if ～	She asked the clerk if there was a larger size.
Where is ～?（Wh疑問）	asked (人) where S V	He asked a woman where the bus stop was.
Let's ～.／Why don't we ～?	suggested that S 原形	She suggested that they take a taxi.
Shall I ～?／I'll ～ for you.	offered to ～	A young man offered to carry her bag.
Would you like ～?（勧め）	asked 人 if 人 would like ～	A clerk asked him if he would like a raincoat.
雲形の吹き出し（考え）	was thinking／wondering／imagining	She was wondering if she would pass the exam.

1 **時間表示はそのまま文頭に**

カードの That weekend／A week later を言い換えずに、そのコマの1文目の頭に置く。コマの切れ目が面接委員に伝わる。

> That weekend, the man went to the bicycle shop.

2 **背景は過去進行形、出来事は過去形**

続いている動作は was ～ing、起きた出来事は過去形。when でつなぐと場面が動いて聞こえる。

> The man was about to leave for work when he noticed that it was raining.

3 **それより前のことは過去完了**

realized／found の後ろが「気づく前に起きていたこと」なら had ＋過去分詞。

> When they got to the station, the train had already left.

4 **時制の一致と目線の変換**

will → would、is → was、can → could。I → he／she、today → that day、tomorrow → the next day、Mom → their mother。

> "I'll call you tomorrow." → He said that he would call her the next day.

5 **1コマ＝動作 → 吹き出し → 表情**

この順で2〜3文。吹き出しがなければ動作と表情だけでOK。1コマ目で長く話しすぎない。

6 **看板・貼り紙の文字も拾う**

A sign said that 〜 で入れ、中身も過去形に。4コマ目の伏線になっていることが多い。

> "Sold Out" → A sign said that the tickets were sold out.

7 **4コマ目は原因 → 結果 → 表情**

何が起きたかで終わらず、because か It turned out that で原因を言い、表情で締める。

> It turned out that the shop had moved. She looked very disappointed.

8 **人物の呼び方を固定**

最初に決めた the man／his wife を最後まで変えない。he／she が2人いる場面は名詞で言い直す。

9 **分からない物は用途で言う**

名前が出ない物は a device for 〜ing／some kind of 〜 で十分。止まるより言い換える。

> a device for measuring blood pressure

10 **1コマ30秒が上限**

2分÷4コマ。遅くとも1分30秒で4コマ目に入るペース。2分使い切る必要はないが、余ったら4コマ目に気持ちを1文足す。

⚠ やりがちな3大ミス

①途中で現在形に戻る ②4コマ目に行く前に時間切れ ③吹き出しを飛ばす。この3つをなくすだけで点が安定する。

ナレーションの型

[カードの最初の文]. [人物] told [相手] that [吹き出しの言い換え]. [相手の反応].
[時間表示1], [人物] [動作の過去形]. [吹き出し・周りの様子].
[時間表示2], [人物] [動作の過去形]. [表情・気持ち].
[時間表示3], [結末・驚き・困った状況]. [原因]. [人物] looked [気持ち].

1行＝1コマ。各行2〜3文。4コマ目は However,／To his surprise, で流れを変えると結末がはっきりする。
詰まったら直接話法：He said to his wife, "I'm going to start cycling to work."

Cycling to Work

最初の文

One day, a man was talking with his wife about how crowded the trains were.

1コマ目

リビング。テレビに満員電車のニュース。男性が自転車店のチラシを妻に見せながら話しかけ、妻は笑顔でうなずいている。

I'm going to start cycling to work.

That weekend

自転車店。男性が新しい自転車を選んでいる。店員がレインコートを手に持って話しかけ、男性は手を横に振って断っている。

Would you like a raincoat, too?

The next Monday

晴れた朝。男性が自転車で駅前を通り過ぎる。駅の入口には電車を待つ人の長い行列。男性は気持ちよさそうに笑っている。

A week later

朝の玄関。外は大雨。スーツ姿の男性が自転車の横で、困った顔で窓の外を見ている。妻が傘を差し出している。

模範ナレーション（約140語） 139語（110〜150）

One day, a man was talking with his wife about how crowded the trains were. He showed her a flyer for a bicycle shop and told her that he was going to start cycling to work. His wife smiled and agreed.

That weekend, the man went to the bicycle shop and chose a new bike. A clerk asked him if he would like a raincoat, too, but the man said that he didn't need one.

The next Monday, the man rode his bike past the station. He looked very pleased because a lot of people were waiting in a long line for the train.

A week later, the man was about to leave for work when he noticed that it was raining heavily. He looked out the window with a troubled expression, and his wife offered him an umbrella.

ある日、男性が妻と、電車がどれほど混んでいるかについて話していました。彼は自転車店のチラシを見せて、自転車で通勤を始めるつもりだと妻に言いました。妻は笑顔で賛成しました。

その週末、男性は自転車店に行き、新しい自転車を選びました。店員がレインコートもいかがですかと尋ねましたが、男性は必要ないと言いました。

次の月曜日、男性は自転車で駅の前を通り過ぎました。たくさんの人が電車を待って長い列を作っていたので、彼はとても満足そうでした。

1週間後、男性が仕事に出かけようとしたとき、雨が激しく降っていることに気づきました。彼は困った表情で窓の外を見て、妻は彼に傘を差し出しました。

- 1コマ目：I'm going to 〜 → told her that he was going to 〜。I → he、am → was に変換。
- 2コマ目：店員の Would you like 〜? → asked him if he would like 〜。断った動作も said that he didn't need one で入れておくと、4コマ目の伏線になる。
- 3コマ目：表情（pleased）＋理由（because 〜）で1文に。
- 4コマ目：was about to 〜 when … で場面を動かし、表情（troubled expression）で締める。No.1 はこの「伏線」を使う。
- 時間表示 That weekend／The next Monday／A week later は3つとも文頭にそのまま。

実演 実演：考える1分→話す2分（別のカードで）

Title: A Birthday Surprise

First sentence: One day, a man and his two children were talking about his wife's birthday.

Picture 1: In the living room, the daughter says to her father, "Let's make a cake for Mom!" The son is nodding.
Picture 2 (That afternoon): At a supermarket, the son puts a pack of strawberries into the basket. The man is checking a recipe on his smartphone.
Picture 3 (That evening): In the kitchen, the man is laughing on the phone. Behind him, smoke is coming out of the oven.
Picture 4 (A little later): The wife comes home and sees a burnt cake on the table. The man looks embarrassed, and the children look disappointed.

1 0〜10秒：最初の文
父と子ども2人が母の誕生日の話。呼び方は the man／his daughter／his son／his wife に固定する。

One day, a man and his two children were talking about his wife's birthday.

2 10〜25秒：4コマ目が先
焦げたケーキ・気まずい父・がっかりした子。原因は3コマ目の電話と煙だと見抜く。

smoke is coming out of the oven

3 25〜45秒：動詞と吹き出し
Let's 〜 → suggested that they make、Mom → their mother。2・3コマ目は動作の動詞を1つずつ。

Let's make a cake for Mom!

4 45〜60秒：時間表示
That afternoon／That evening／A little later を文頭に。最初の文と1コマ目の2文目を頭の中で言ってから開始。

5 2分：1コマ約30秒
各コマ2〜3文、全部過去形。4コマ目は It turned out that で原因を言い、最後に表情で締める。

答え **模範ナレーション（127語）：One day, a man and his two children were talking about his wife's birthday. His daughter suggested that they make a cake for their mother, and his son agreed. / That afternoon, they went to a supermarket to buy the ingredients. The boy put a pack of strawberries into the basket, and the man checked a recipe on his smartphone. / That evening, the man was talking on the phone and laughing in the kitchen. He did not notice that smoke was coming out of the oven behind him. / A little later, his wife came home and saw a burnt cake on the table. It turned out that the man had forgotten about the**

cake while he was on the phone. He looked embarrassed, and the children looked disappointed.

教訓 **4コマ目と原因を先に決めれば、残りは過去形でつなぐだけ**

✕ ~~He said his wife that he was tired.~~

◯ **He told his wife that he was tired.**

said の直後に「人」は置けない。told 人 (that) ～ が短く自然。

✕ ~~She suggested her husband to take a taxi.~~

◯ **She suggested that her husband take a taxi.**

suggest は「人 to ～」をとらない。that 節で動詞は原形。

✕ ~~He asked the clerk where was the station.~~

◯ **He asked the clerk where the station was.**

間接疑問は S＋V の語順に戻す。

✕ ~~The mother told her son don't run.~~

◯ **The mother told her son not to run.**

禁止は told 人 not to ～。Don't をそのまま入れない。

✕ ~~After one week, it is raining heavily.~~

◯ **A week later, it was raining heavily.**

時間表示はカードどおり。現在形に戻らない。

ナレーションで使える表現

She suggested that they eat out that night.
彼女はその夜は外食しようと提案した。
Let's eat out tonight! の言い換え

The man asked a staff member if there were any seats left.
男性は係員に、まだ席が残っているか尋ねた。

She was worried that she might miss the last train.

彼女は終電に乗り遅れるかもしれないと心配していた。

By the time they arrived at the theater, the movie had already started.
彼らが映画館に着いたときには、映画はもう始まっていた。

It turned out that the restaurant was closed that day.
実は、そのレストランはその日休みだった。

To their surprise, the park was full of people.
驚いたことに、公園は人でいっぱいだった。

He realized that he had left his wallet at home.
彼は財布を家に置いてきたことに気づいた。

She looked disappointed when she saw the long line.
長い列を見て、彼女はがっかりした様子だった。

In the end, they decided to take a taxi instead.
結局、彼らは代わりにタクシーに乗ることにした。

❶ No.1「もしあなたが〜なら、何を考えている？」

4コマ目の人物の気持ちを、仮定法の質問で聞くのが定番。型が決まっているから、ここは確実に取りに行く。

★ I'd be thinking, "…" で2文

質問は **If you were the 〜, what would you be thinking?** が定番。答えは I'd be thinking, "……" で始め、引用の中は **その人の今の心の声**（I・現在形・should have など）を2文。

組み立ては「4コマ目への反応」＋「反省か次の一手」。仮定の質問なので、外側は必ず **I'd（I would）be thinking**。I was thinking や He was thinking にしない。

反省型（自分のミスが原因）

I'd be thinking, "**[4コマ目への反応]**. I should have **[過去分詞 〜]**."

しまった → こうすべきだった。準備不足・忘れ物・断った申し出が原因の結末に。

例：I'd be thinking, "Oh no, it's raining so hard. I should have bought that raincoat."

前向き型（不運・他人が原因）

I'd be thinking, "**[残念な気持ち]**. Next time, I'll **[次にすること]**."

残念 → 次はこうしよう。At least 〜（少なくとも〜）で良い面を見てもいい。

例：I'd be thinking, "What a shame, but it can't be helped. Next time, I'll book the tickets earlier."

that節型（間接的に言う形）

I'd be thinking that I should have **[過去分詞 〜]** and that **[次にすること]**.

引用符を使わない言い方。正しいが、直接話法の方が気持ちが生き生き伝わり、時制のミスも起きにくい。

例：I'd be thinking that I should have checked the weather forecast.

4コマ目の表情	使う型	例（引用の中）
自分のミスで暗い顔	I should have ～／I wish I had ～	I wish I had left home earlier.
強い後悔＋今の状況	If I had ～, … wouldn't ～ now	If I had brought a map, we wouldn't be lost now.
不運・どうしようもない	What a shame. ＋ Next time, I'll ～	What a shame. Next time, I'll check the schedule.
驚き・あきれ	I can't believe ～	I can't believe the shop is closed today.
他人の迷惑行為	I should ask them to ～	I should ask them to keep their voices down.

🎓 **なぜ効く？ 決まった出だしが頭を空ける**

I'd be thinking, "…" のような決まった言い出しは「定型表現（チャンク）」。ネイティブも覚えたかたまりを使って流ちょうに話している。出だしを自動にすれば、頭は中身だけに使える。

Pawley & Syder（1983）／Wray（2002）定型表現・チャンク

模範：Cycling to Work の No.1

QUESTION

Please look at the fourth picture. If you were the man, what would you be thinking?

I'd be thinking, "I should have bought that raincoat when the clerk recommended it. Now I'll have to take the crowded train again."

「店員さんにすすめられたときに、あのレインコートを買っておくべきだった。これでまた満員電車に乗らなきゃいけない」と考えていると思います。

- 2コマ目の伏線（断ったレインコート）を使うと、絵をよく見ていることが伝わる。
- 1文目＝後悔（should have ＋過去分詞）、2文目＝今の状況（I'll have to ～）。
- 引用の中は男性の心の声なので、主語は I、時制は現在。

実演 実演：No.1を5秒で組み立てる

(Card: A Birthday Surprise)

Picture 3: The man was talking on the phone while smoke was coming out of the oven[3].

Picture 4: His wife came home and saw a burnt cake. The man looked embarrassed.[2]

Question: Please look at the fourth picture. If you were the man[1], what would you be thinking?

1 **人物を確かめる（1秒）**
If you were the man → 父親になりきる。妻や子どもではない。聞き逃したらすぐ聞き返す。

If you were the man

2 **表情で型を選ぶ（2秒）**
embarrassed＝自分のミスで気まずい → 反省型（I should have 〜）に決める。

The man looked embarrassed.

3 **伏線を1文目に**
3コマ目の電話と煙が原因。「電話していないでオーブンを見ているべきだった」を should have で言う。

talking on the phone while smoke was coming out of the oven

4 **2文目は次の一手**
反省だけで終わらず、I'll 〜 で今からすることを足す。ケーキを買いに行けば、誕生日はまだ祝える。

5 **外側と中身を確認**
外側は I'd be thinking、引用の中は I・現在形。ナレーションのくせで He was thinking にしない。

答え **I'd be thinking, "I should have kept an eye on the oven instead of chatting on the phone. I'll go and buy a cake at the bakery so that we can still celebrate tonight."**

教訓 **表情で型を選び、前のコマの伏線を1文目に使う**

× ~~I'd be thinking, "I should buy a raincoat."~~

○ **I'd be thinking, "I should have bought a raincoat."**

終わったことへの後悔は should have ＋過去分詞。should buy だと「これから買うべき」。

× ~~I was thinking, "It's raining."~~

○ **I'd be thinking, "Oh no, it's raining so hard."**

仮定の質問なので would で受ける。

✕ ~~He was thinking, "I should have checked the weather."~~

○ **I'd be thinking, "I should have checked the weather."**

If you were ～ と聞かれている。ナレーションのくせで He was ～ と言わない。

✕ ~~I'd be thinking, "Oh no."~~

○ **I'd be thinking, "Oh no, I left my wallet at home. I'll have to borrow some money from my friend."**

ひと言だけでは情報不足。反応＋次の一手で2文に。

✕ ~~I'd be thinking, "I was so embarrassed."~~

○ **I'd be thinking, "I'm so embarrassed. Everyone is looking at me."**

引用の中は4コマ目の「今」。気持ちは現在形。

4コマ目のパターン別・No.1の答え

I'd be thinking, "I should have checked the train schedule. Now we're going to be late for the wedding."

「電車の時刻表を確認しておくべきだった。これでは結婚式に遅れてしまう」と考えていると思います。

自分のミス

I'd be thinking, "If only I had left home ten minutes earlier. I'll set two alarms next time."

「あと10分早く家を出てさえいれば。次は目覚ましを2つかけよう」と考えていると思います。

強い後悔

I'd be thinking, "What a shame. We worked so hard on the party, but we'll have to put it off until next month."

「残念。パーティーの準備をがんばったのに、来月に延期するしかない」と考えていると思います。

予定が台無し

I'd be thinking, "I can't believe it's so expensive. Next time, I'll compare prices online before buying anything."

「こんなに高いなんて信じられない。次は買う前にネットで値段を比べよう」と考えていると思います。

予想外の出費

I'd be thinking, "Well, my plan didn't work out. At least everyone enjoyed themselves."

「まあ、計画どおりにはいかなかった。でも少なくともみんな楽しんでくれた」と考えていると思います。

思わぬ結末を前向きに

❷ No.2・No.3：Yes/No → 理由 → 具体例

カードを裏返したら、カードの話題に関連したあなたの意見を聞かれる。結論から3〜4文の型を体に入れておこう。

★ 1文目で立場、あとは理由1つ＋具体例1つ

I think so.／I don't think so. で立場を言い切り、理由1つ＋具体例1つ。3〜4文 で止める。理由を2つ並べるより、1つを具体例で深める方が崩れにくい。

質問の形	Yes のとき	No のとき
Do you think 〜?	Yes, I think so.	No, I don't think so.
Should 〜?	Yes, I think they should.	No, I don't think they should.
Is it a good idea to 〜?	Yes, I think it is.	No, I don't think it is.
Will 〜 in the future?	Yes, I think so.	No, I don't think so.
Are you in favor of 〜?	Yes, I am.	No, I'm not.

they は質問の主語に合わせて変える（Should schools 〜? なら they＝schools）。迷ったら I think so.／I don't think so. でもOK。

Yes 型

Yes, I think so. **[理由]**. For example, **[具体例]**. That's why I think **[結論の言い換え]**.

賛成の基本形。最後の1文はあってもなくてもいい。長くなりそうなら具体例で止める。

No 型（半歩ゆずる）

No, I don't think so. It's true that **[反対側の良い点]**, but **[自分の理由]**. For example, **[具体例]**.

反対側を一言認めてから主張すると、バランスのいい答えになる。立場はぶれない。

It depends 型（最後は寄せる）

It depends on **[条件]**, but in most cases, I think so. **[理由]**. For example, **[具体例]**.

どちらとも言えないときも、最後はどちらかに寄せる。It depends だけで終わらない。

1 **1文目は質問の語をそのまま**

質問の語を使えば1文目はすぐ作れる。2文目以降で言い換えると語彙の幅も伝わる。

> Q: Should schools teach more about money? → Yes, I think schools should teach more about money.

2 **This means that で1段深く**

理由を言ったら「つまり誰に何が起きるか」を足す。3〜4文が自然に埋まる。

> This means that people would have more time with their families.

3 **具体例は仮定で作ってOK**

知らない事実や数字は作らない。If ＋過去形, 〜 would … にすれば、うそをつかずに具体化できる。

> For example, if a store offered free delivery, elderly people would shop there more often.

4 **前置きは1回まで**

That's a difficult question. Let me see. Well… と重ねると時間も印象も失う。考える一言は1回だけ。

5 **Why? と聞かれたら新しい理由**

深掘りは「もっと聞きたい」のサイン。同じ理由をくり返さず、別の角度の理由か具体例を1〜2文足す。

No.2 模範（Yes 型）

QUESTION

Do you think people today spend too much time on their smartphones?

Yes, I think so. Many people check their phones even when they are with friends or family. This means that they have fewer real conversations. For example, it's common to see a whole family looking at their phones at a restaurant.

はい、そう思います。友人や家族と一緒にいるときでさえ、スマホを見る人が多いです。つまり、実際の会話が減っているということです。たとえば、家族全員がレストランでスマホを見ている光景はよくあります。

- 結論 → 理由 → This means that → 具体例の4文。
- 主語を many people にして、個人の話に寄りすぎない。

No.3 模範（No 型）

QUESTION

Do you think online shopping will replace stores in the future?

No, I don't think so. It's true that online shopping is convenient, but many people still want to see and touch products before they buy them. Also, shopping in stores can be a fun way to spend time with friends.

いいえ、そう思いません。確かにネット通販は便利ですが、買う前に商品を見たり触ったりしたい人はまだ多いです。また、店での買い物は友人と過ごす楽しい時間にもなります。

- It's true that ～, but ～ で半歩ゆずってから主張。
- Also, で2つ目の理由を短く足した。

実演 実演：No.2（Yes 型）を4文で

Do you think[1] more parents should teach their children how to cook?

1 形を聞き分ける（1秒）

Do you think ～? → Yes, I think so.／No, I don't think so. のどちらかで始めると決める。

Do you think

2 理由が浮かぶ側へ

8つの切り口のうち「健康」がすぐ出る → Yes。本心かどうかは気にしなくていい。

3 **理由を1文で**
料理は健康的に食べる力をつける大事な生活技術だ、と言い切る。

4 **This means that**
「つまり誰に何が起きるか」を足す → ファストフードやコンビニの食事に頼らなくなる。

5 **具体例で止める**
一人暮らしを始めた時に自炊できる、という場面で締める。4文・約20秒で十分。

答え **Yes, I think so. Cooking is an important life skill that helps children eat more healthily. This means that they will be less likely to depend on fast food or convenience store meals. For example, if children learn to make simple dishes at home, they will be able to cook for themselves when they start living alone.**

教訓 **理由は1つ。This means that と具体例で深くすれば十分**

実演 実演：No.3（No 型）を半歩ゆずって

Do you think people will cook at home less in the future?

1 **立場を決める（2秒）**
Yes（調理済みの食品が便利）も言えるが、No の方が例が浮かぶ → No, I don't think so. で言い切る。

2 **半歩ゆずる**
It's true that で相手側の良い点を1つだけ認める。ready-made meals are convenient で十分。

3 **but の後に自分の理由**
健康と食費を気にする人が多い、と but の後ろで主張する。立場はぶれない。

4 **具体例を1つ**
ネットの時短レシピ動画なら忙しい人でも10分で作れる、という身近な例で締める。

答え **No, I don't think so. It's true that ready-made meals are becoming more convenient, but many people care about their health and want to save money on food. For example, there are many online videos that show**

how to cook a healthy meal in just ten minutes, so even busy people can cook at home.

教訓 **It's true that ～, but で、反対側を認めつつ立場を守る**

8つの切り口ですぐ理由を作る

This would help families save money.
これで家庭はお金を節約できるでしょう。
コスト

People would be able to save a lot of time.
人々は多くの時間を節約できるでしょう。
時間

It would make streets safer, especially for children and elderly people.
特に子どもや高齢者にとって、道路がより安全になるでしょう。
安全

This would encourage people to exercise more and stay healthy.
人々がもっと運動して健康を保つきっかけになるでしょう。
健康

It would reduce waste and help protect the environment.
ごみが減り、環境を守ることにつながるでしょう。
環境

Students would have more chances to learn practical skills.
生徒は実践的な技能を学ぶ機会が増えるでしょう。
教育

It would create new jobs, especially in rural areas.
特に地方で新しい仕事が生まれるでしょう。
雇用

Thanks to new technology, many things can now be done online.
新しい技術のおかげで、今では多くのことがネットでできます。
技術

× ~~Q: Should ～? → Yes, I do.~~

○ **Yes, I think they should.**

質問の形に合わせる。1文目から文法ミスになる。

✕ ~~Yes, I think so. Because it's convenient.~~

○ **Yes, I think so, because it's convenient for busy people.**

Because ～ だけの文は不完全。1文にまとめるか This is because ～ で始める。

✕ ~~I think so. I think so because I think it's good.~~

○ **I think so. It would save people a lot of time.**

中身のない理由は情報量ゼロ。8つの切り口から1つ選ぶ。

No.4：社会の目線で答える

最後の質問はトピックにやや関連した社会性のある質問。個人の話で終わらせず、政府・企業・社会の視点に切り替えよう。

★ 主語を社会に変える

No.4 は I ではなく people／companies／the government を主語 にして、社会への影響と具体策を言う。自分の体験は、具体例の1文に使う程度でいい。

主語	言う中身	例
the government	法律・お金・制度	The government could give tax benefits to 〜.
companies	働き方・商品・責任	Companies should allow more flexible working hours.
schools	授業・教育の機会	Schools could offer more practical classes.
local communities	地域の助け合い	Local communities could organize events for 〜.
people／society	生活・意識の変化	People would be more aware of 〜.

Should the government 〜? 型

Yes, I think the government should **[すること]**. **[社会への良い影響]**. For example, it could **[具体策]**.

主語を the government にして、影響と具体策を言う。
No の場合：No, I don't think so. Instead, I think [companies／local communities] should [すること].

短期と長期で比べる型

Yes, I think so. In the short term, **[デメリット]**. However, in the long run, **[社会全体のメリット]**.

コストや反対がありそうな政策に強い。視野の広い答えになる。

1 影響を受ける人を具体的に

people だけでなく、elderly people／working parents／people in rural areas と絞ると説得力が上がる。

2 No なら代案を出す

反対するだけで終わらず、Instead, 〜 should … で別の主体や方法を示す。

> Instead, local communities should support each other.

3 逆の意見を示されても立場は保つ

認める → still で保つ → 新しい理由を1つ。すぐ立場を変えると、最初の答えの根拠がなくなる。

> That's a good point. However, I still think so, because it would create new jobs.

4 知識がなくても常識で答える

専門知識は求められていない。お金・時間・安全・環境のどれかから理由を作り、数字は作らない。I've heard that ～ はふんわり使う。

No.4 模範（Yes：政府の視点）

QUESTION

Should the government do more to support people who care for elderly family members?

Yes, I think so. As society ages, more and more people have to look after their parents while working. If the government provided more care services, these people would not have to quit their jobs. In the long run, this would also help the economy.

はい、そう思います。社会の高齢化が進み、働きながら親の世話をしなければならない人が増えています。政府が介護サービスをもっと提供すれば、こうした人たちは仕事を辞めずに済むでしょう。長い目で見れば、経済の助けにもなります。

- 社会の変化（As society ages）→ 仮定法で効果 → 長期の影響、の流れ。
- 主語は people／the government。I は一度も出てこない。

No.4 模範（No：代案つき）

QUESTION

Should companies be required to hire a certain number of older workers?

No, I don't think so. It's true that many older people want to keep working, but forcing companies to hire them could be a heavy burden for small businesses. Instead, the government should give companies tax benefits for hiring older workers.

いいえ、そう思いません。確かに働き続けたい高齢者は多いですが、企業に雇用を強制すると、小さな会社には大きな負担になりかねません。代わりに、政府は高齢者を雇う企業に税の優遇を与えるべきです。

- It's true that ～, but ～ で半歩ゆずる。
- Instead, で代案を出すと、反対でも前向きな答えになる。

実演 実演：No.4を社会の目線に切り替える

Should the government[1] do more to encourage young people to eat healthily?

1 主語を切り替える
自分の食生活の話はしない。the government と young people を主語にすると決める。
Should the government

2 社会の今を1文で
若者は安くて便利なファストフードに頼りがち、という社会の様子から入る。

3 具体策を仮定法で
If the government offered ～, … would ～ で、地域の無料料理教室という具体策とその効果を言う。

4 長期の影響で締める
In the long run で社会全体の医療費が減る、と個人より大きい話で終える。4文・約25秒。

答え **Yes, I think so. Many young people today eat a lot of fast food because it is cheap and convenient. If the government offered free cooking classes at community centers, more young people would learn to make healthy meals. In the long run, this would help reduce medical costs for the whole society.**

教訓 **主語を社会にして、具体策と長期の影響で答える**

✕ ~~I always take my own bag when I go shopping.~~

○ **If more people brought their own bags, there would be much less plastic waste.**

No.4 は社会全体の話。自分の習慣ではなく people を主語に。

✕ ~~Oh, you're right. Actually, I don't think so.~~

○ **That's a good point. However, I still think so, because it would help local businesses.**

認めてから still で保ち、新しい理由を足す。

✕ ~~About 80 percent of people agree with this.~~

○ **I've heard that many people support this idea.**

知らない数字は作らない。ふんわり言えば十分。

詰まったら：救急フレーズと即答集

頭が真っ白になった瞬間に、口から出れば勝ち。黙る前に言う1フレーズと、困った場面ごとの動き方。

★ 黙る前に1フレーズ

一番の失点は沈黙。分からない・思いつかない時こそ、まず声を出す。聞き返す・考える時間をもらう・言い直す、の3種類を1つずつ口にしておけば足りる。

聞き返す

I'm sorry, could you repeat the question, please?

すみません、質問をもう一度お願いできますか。

Sorry, I didn't quite catch that. Could you say it one more time?

すみません、よく聞き取れませんでした。もう一度言っていただけますか。

Sorry, do you mean people who work from home?

すみません、在宅で働く人のことですか。

聞き取れた語で確認する形

考える時間をもらう

Let me see.

ええと。

That's an interesting question. Let me think for a moment.

興味深い質問ですね。少し考えさせてください。

Well, I haven't thought about that before, but I would say yes.

そうですね、考えたことはありませんでしたが、答えはイエスです。

言い直す・言い換える

Sorry, I mean the woman, not her husband.

すみません、夫ではなく女性のことです。

What I'm trying to say is that it would save a lot of time.

私が言いたいのは、それで多くの時間が節約できるということです。

I don't know the exact word, but it's a machine for making bread.

正確な単語は分かりませんが、パンを作る機械です。

Anyway, going back to my point, I think companies should do more.

とにかく、話を戻すと、企業はもっと取り組むべきだと思います。

🎓 **なぜ効く？ 聞き返しも英語力のうち**

聞き返す・言い換える・時間をかせぐ、は「方略的能力」と呼ばれ、コミュニケーション能力の一部とされている。ごまかしではなく、会話を止めないための立派な技術。

Canale & Swain（1980）方略的能力

迷ったら 1分の準備で全部決まらなかったら

→ 4コマ目の結末だけは決めて始める。1〜3コマ目は話しながら組み立てる。

出だしはカードの最初の文が助けてくれる。

迷ったら ナレーションで1コマ飛ばしたら

→ 気づいた所で過去完了の1文を足して先へ。

例：Before that, the man had refused to buy a raincoat. 戻って全部言い直さない。

迷ったら 4コマ目の途中で時間切れになったら

→ 指示に従ってすぐ止める。No.1 は4コマ目について聞かれることが多いので、そこで取り返す。

迷ったら 絵の意味が分からなかったら

→ 見えている事実を言い、It seemed that ～ で推測を添える。

例：The man was looking at a letter. It seemed that he was worried about it.

迷ったら No.1 の人物を聞き逃したら

→ Could you repeat the question, please? と聞き返す。

違う人物になりきると内容がずれる。

迷ったら 質問の単語が分からなかったら

→ 1回聞き返す。それでも分からなければ、分かった語を使って I think ～ で答えを作る。

迷ったら Yes か No か決められなかったら

→ 理由がすぐ浮かぶ側を選ぶ。本心でなくてOK。

迷ったら 頭が真っ白になったら

→ Let me see. と言ってから、質問の語をそのまま使って1文目を作る。

例：Q: Should cities have more parks? → Let me see. I think cities should have more parks.

迷ったら 前の答えが短すぎた気がしたら

→ 戻らない。次の質問で3〜4文をしっかり言って取り返す。

迷ったら 面接委員の表情が硬い・ずっと書き込んでいたら

→ 気にしない。表情から合否は読めない。自分のペースで話す。

😊 アティチュード：英語の出来に関係なく取れる点

積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度も評価項目。配点の目安は3点。英語の出来に関係なく取れるから、満点を狙おう。

★ 黙らない・目を見る・声を張る

アティチュードは入室から退室まで見られていると考えるのが安全。沈黙を作らない、相手の目を見る、はっきりした声。この3つで十分。

1 声は普段の1.5倍

緊張すると声は小さくなる。特に文の最後を小さくしない。

2 質問は目、ナレーションはカード

答えるときは面接委員の目を見る。ナレーション中はカードを見てOK。時間表示を言う瞬間に顔を上げるとなお良い。

3 文末は下げて言い切る

語尾を上げたりぼかしたりすると自信がなく聞こえる。ピリオドで声を下げる。

4 日本語を出さない

「えーと」「あのー」は Well,／Let me see. に置き換える。前日から口ぐせにしておく。

5 早口にしない

意味のまとまりで区切ると、発音のミスも減る。速さより聞き取りやすさ。

6 言い終わったら相手を見る

答え終わりの合図は目線で。That's all. と言わなくても伝わる。

7 入室と退室ははっきり

Hello. と Thank you very much. は笑顔で。背筋を伸ばし、手はひざの上。

🎓 なぜ効く？ 緊張は「ワクワク」と言い換える

本番前に「落ち着け」と自分に言うより「ワクワクしている」と言い換えた方が、人前で話すパフォーマンスが上がったという研究がある。ドキドキは体が本番の準備をしている証拠。

Brooks（2014）不安の再評価

× ~~（小声で）えーと…~~

◯ **Let me see.**

考えている間も英語で。沈黙と日本語を同時に防げる。

✕ ~~Yes, I think so…?（語尾が上がる）~~

◯ **Yes, I think so.（語尾を下げる）**

言い切ると、内容まで自信があるように聞こえる。

✕ ~~（カードを返すとき無言で差し出す）~~

◯ **Sure. Here you are.**

最後のやりとりまで会話のうち。

上手な英語より、伝えようとする英語。

社会問題ネタ帳（No.2〜No.4用）

準1級の面接で問われやすい社会テーマを12個。賛成・反対の理由を英語1文ずつ用意した。No.4 で頭が真っ白になっても、どれかが使える。

★ ネタ帳の使い方

質問を聞いたら、近いテーマの理由を1つ借りて、Yes, I think so.＋理由＋For example, の形に流し込む。理由は質問に合わせて主語や語を少し変えれば使える。

Should more companies allow employees to work from home?
もっと多くの会社が在宅勤務を認めるべきか ネタを見る

Should the government do more to support elderly people who live alone?
政府は一人暮らしの高齢者をもっと支援すべきか ネタを見る

Is artificial intelligence doing more good than harm in the workplace?
職場でのAIは害より益が大きいか ネタを見る

Should the use of plastic packaging be more strictly limited?
プラスチック包装の使用をもっと厳しく制限すべきか ネタを見る

Should Japan accept more foreign workers?
日本はもっと外国人労働者を受け入れるべきか ネタを見る

Should online classes become a regular part of school education?
オンライン授業を学校教育の通常の一部にすべきか ネタを見る

Should popular tourist sites limit the number of visitors?
人気の観光地は訪問者数を制限すべきか ネタを見る

Should the government do more to encourage people to have children?
政府は子どもを持つことをもっと後押しすべきか ネタを見る

Should more be done to reduce food waste?
食品ロスを減らすためにもっと対策すべきか ネタを見る

Should young people be required to do volunteer work?
若者にボランティア活動を義務づけるべきか ネタを見る

Should children's smartphone use be limited?
子どものスマホ利用を制限すべきか ネタを見る

Should more be done to prepare for natural disasters?
自然災害への備えをもっと進めるべきか ネタを見る

ネタ帳 → 答えに変える型

Yes, I think so. **[ネタ帳の理由]**. For example, **[身近な具体例]**.
No, I don't think so. It's true that **[反対側の理由]**, but **[ネタ帳の理由]**.

理由はネタ帳から借りて、具体例だけ自分で作る。具体例が浮かばなければ If ～ would … の仮定で作る。

1 主語を差し替える

ネタ帳の理由は、主語を質問に合わせて変えればそのまま使える。

> Workers would save commuting time. → Students would save commuting time.

2 万能の理由を持っておく

時間・お金・健康・安全の4つは、ほとんどのテーマに使える。1つ選んで具体例を足すだけ。

> It would save people a lot of time and money.

3 反対の理由は「ゆずる」に回す

No 側の理由を It's true that ～ に入れれば、Yes の答えにも厚みが出る。

> It's true that online classes are convenient, but students can get distracted easily at home.

実演 実演：ネタ帳から10秒で答えを作る

Do you think more people will choose to live in the countryside in the future?

1 近いテーマを探す（3秒）

田舎暮らし →「在宅勤務」のネタが使えると気づく。会社の近くに住む必要がなくなる、が理由になる。

2 立場と理由を借りる

Yes, I think so. の後に、在宅勤務が広がれば職場の近くに住む必要がない、と理由を組み替える。

3 **具体例は仮定で作る**
If ～ could …, they could ～ で、広い家ときれいな空気を例にする。数字は作らない。

4 **3文で止めてもいい**
結論＋理由＋例の3文で十分。長く話すより、止まらずに言い切る方がずっと大事。

答え **Yes, I think so. As more companies allow employees to work from home, many people no longer need to live near their offices. For example, if someone could do most of their work online, they could enjoy a bigger house and fresh air in the countryside.**

教訓 **ネタ帳の理由は、主語と話題を変えれば何度でも使える**

持ち物・控室・最終チェック

前日の夜と当日の朝に上から順にタップ。全部にチェックがついたら準備完了。

⚠ 顔写真付き身分証明書の原本が必須

二次でも **顔写真付き身分証明書の原本** の提示が必須（学生証・生徒手帳、運転免許証、パスポート、マイナンバーカードなど）。コピー・スマホの画像・デジタル学生証・期限切れは不可。忘れても受験はできるが、試験の翌々日 午前9時30分まで に画像をアップロードしないと認証失格（成績無効）。

持ち物と移動 0/5

- [ ] 二次受験票（会場・集合時刻は二次受験票で確認。一次と同じ会場とは限らない）
- [ ] 顔写真付き身分証明書の原本（有効期限内）
- [ ] 上履き（会場の案内で必要とされている場合）
- [ ] 集合時刻の20〜30分前に着く経路と所要時間
- [ ] 家を出る前に英語を声に出して3分ウォームアップした

1. **受付**
   二次受験票と身分証を出せるようにしておく。
2. **控室**
   面接カードに記入。控室に入ったら携帯電話は電源OFF（係員の指示が最優先）。紙のメモを見てよいかも係員の指示しだい。
3. **面接室の前**
   声は出さず、口の中でナレーションの型と I'd be thinking を言っておく。
4. **面接中**
   メモ・写真撮影・録音は禁止（公式）。カードだけを見て頭の中で組み立てる。

項目	配点の目安	取り方
ナレーション	15	4コマ目まで・過去形・時間表示
No.1〜No.4	各5	結論から3〜4文
アティチュード	3	黙らない・目を見る・声を張る

合格基準は CSE 512／750。満点はいらない。大きく崩れず、アティチュードで取りこぼさなければ届く。

面接室に入る前の最終確認 0/9

- [ ] 自己紹介・趣味・受験の理由を英語で2〜3文ずつ言える
- [ ] 考える1分：4コマ目の結末 → 吹き出しの型 → 時間表示 → 出だし
- [ ] ナレーション：最初の文から・過去形・時間表示・各コマ2〜3文
- [ ] No.1：I'd be thinking, "…" で2文（引用の中は現在形）
- [ ] No.2・No.3：I think so.／I don't think so. ＋理由＋具体例
- [ ] No.4：主語は people／companies／the government
- [ ] 聞き返し：Could you repeat the question, please?
- [ ] 考える一言：Let me see.
- [ ] 携帯電話の電源を切った

完璧な英語より、止まらない英語。4コマ目まで言い切れば勝ち。

スマホはいつまで見られる？もう教室に入ったらダメ？

★結論：スマホは「教室に入る直前」まで
従来型の一次は、試験教室の中では電源を切ってカバンにしまい、足元に置く（公式）。だからスマホを見られるのは廊下・ロビーまで。教室に入ってからスマホを出すのはNG。

従来型の一次（本会場）

場面	スマホ	紙のメモ
家・移動中・会場の廊下やロビー	○	○
教室に入った後〜説明が始まるまで	×（電源OFF→カバン→足元）	○ 見てよいことが多い（試験監督の指示が最優先）
試験監督の説明が始まったら	×	△「しまって」と言われたら即しまう
試験中（R・W）	×	×（問題冊子と解答用紙だけ）
R・W終了→リスニング	×（準備中・テスト中は退出できない）	×
終了後	○ 教室を出てから	○

スマホ見納めの目安（本会場の標準時刻）

級	入場開始	スマホ見納めの目安	着席時間
準1級（午前）	8:40	9:10ごろ（遅くとも9:20）	9:20
1級（午後）	12:40	13:10ごろ（遅くとも13:20）	13:20
2級（午後）	12:50	13:20ごろ（遅くとも13:30）	13:30

見納め＝教室に入る時刻。着席時間の10分前（目安）には教室に入るのが安全（トイレと机の準備の時間）。試験開始は準1級10:00／1級14:00／2級14:10。時刻は必ず自分の受験票で確認。

⚠スマートウォッチも禁止。時計代わりにもならない

スマートウォッチなどのウェアラブル端末は使用禁止で、時計としても使えない。携帯電話も腕時計の代わりにならない。着信音・バイブ音が鳴ると失格のことがある。

✕ ~~着席してから、最後にスマホで単語チェック~~

◯ **スマホは廊下で見納め。教室では紙を見る**

教室の中は電源OFFでカバンへ（公式）。出した時点でトラブルになりうる。

✕ ~~マナーモードや機内モードにしてカバンへ~~

◯ **電源を切ってからカバンへ**

アラームや通知の音・バイブで失格のことがある。公式のルールは「電源を切る」。

✕ ~~スマートウォッチを腕時計の代わりに~~

◯ **ふつうの腕時計を持っていく**

ウェアラブル端末は時計としての利用も不可。多機能時計も時計としてだけ使う。

二次（面接）

場面	スマホ	紙のメモ
会場に着いて受付まで	◯	◯
受付後〜控室	×（係員の指示で電源OFF。控室に入ったらOFFが安全）	△ 係員の指示しだい
面接室の前で順番待ち	×	△ 係員の指示しだい
面接中	×	×（メモ・写真撮影・録音は禁止）
退室後	△ 建物を出るまでは係員の指示に従う	◯

S-CBT（テストセンター）

場面	スマホ	紙のメモ
受付（集合時間）の前	○	○
受付後（本人確認→荷物はロッカー等へ）	×（会場の指示どおり預ける）	△ 会場の指示しだい
試験中（S→L→R→W）	×	×（配られるメモ用紙だけ。持ち帰れない）
終了後	○ 荷物を受け取ってから（会場の指示に従う）	○

S-CBTは集合時間（受付開始）の約15分後に試験開始（注意事項説明）。例：土日祝の午前は集合9:00・開始9:15。スマホを見られるのは受付前まで。時刻は自分の受験票が最優先。

★ だから、最後の1枚は紙で持っていく
教室でスマホは見られない。でも紙なら、説明が始まるまで見てよいことが多い。このサイトの印刷用PDFを1枚カバンに。廊下でスマホを切ったら、そこからは紙が相棒。

準会場（学校など）は時刻もルールも違う。学校の案内に従おう。

直前カード

- **ノック＋May I come in?**　ドアをノックして入り、Hello. は笑顔で目を見て。面接カードを渡してから、指示を待って座る。（May I come in? / Hello.）
- **自由会話は答え＋1〜2文**　Yes／No や1語で終わらせない。答えを言い切り、頻度・最近のこと・予定のどれかを1文足す。（I like cooking. Recently, I've been trying recipes from different countries.）
- **緊張は正直に言ってOK**　How are you? と聞かれたら、緊張していると言ってしまう。それだけで肩の力が抜ける。（I'm a little nervous, but I'm fine, thank you.）
- **1分は4コマ目から決める**　メモは禁止。最初の文で筋をつかんだら、4コマ目の結末と表情を先に決める。次に吹き出しの型、最後に時間表示と出だし。
- **最初の文はカードのまま**　ナレーションの1文目はカードに書いてある。そのまま読んでスタートし、1コマ目の2文目につなぐ。
- **時間表示を文頭にそのまま**　2〜4コマ目は、カードの時間表示から始める。言い換えない。コマの切れ目が伝わる。（A week later, the man was about to leave for work.）

- **最後まで過去形**　背景は過去進行形、出来事は過去形、それより前は過去完了。途中で現在形に戻らない。（When he got to the station, the train had already left.）
- **吹き出しは told 人 to**　指示は told 人 to ～、質問は asked if ～、提案は suggested that S＋原形。詰まったら直接話法でOK。（She suggested that they take a taxi.）
- **4コマ目は原因と表情**　結末を言ったら、原因（because／It turned out that）と表情で締める。ここを言わずに終わらない。（He looked out the window with a troubled expression.）
- **No.1はI'd be thinking**　主語は I。引用の中は今の心の声で2文。反応＋反省か次の一手。（I'd be thinking, "I should have bought that raincoat."）
- **should have で後悔**　終わったことへの後悔は should have＋過去分詞。should＋原形だと「これからすべき」になる。（I should have checked the weather forecast.）
- **カード裏返しに All right.**　指示にはひと言返してから動く。ここからカードは見ない。No.2～No.4 はあなたの意見。（All right.）
- **No.2・3は結論から3～4文**　I think so.／I don't think so. で言い切り、理由1つ＋具体例1つ。前置きは1回まで。（Yes, I think so. For example, …）
- **Should ～? の答え方**　質問の形に合わせて最初の一言を選ぶ。Should ～? に Yes, I do. は文法ミス。（Yes, I think they should.）
- **No.4は社会が主語**　people／companies／the government を主語に。短期と長期で比べると視野の広い答えになる。（In the short term, …, but in the long run, …）
- **反対なら代案を出す**　No で答えたら Instead, で別の方法や主体を示す。反対でも前向きな答えになる。（Instead, the government should give tax benefits to companies.）
- **具体例は仮定で作る**　知らない数字や事実は作らない。If＋過去形, ～ would … で「もし～なら」の例にする。（For example, if more companies allowed flexible hours, trains would be less crowded.）
- **聞き取れなければ即聞き返す**　黙る方がずっと痛い。1問1回までを目安に、迷わず使う。（I'm sorry, could you repeat the question, please?）
- **3秒以上黙らない**　考える時は英語で時間をつなぐ。「えーと」は Let me see. に置き換える。（Let me see. / That's an interesting question.）
- **逆の意見にも立場を保つ**　Why? や反対意見を示されたら、認めてから still で立場を保ち、新しい理由を足す。（That's a good point. However, I still think so, because …）
- **表情から合否は読めない**　面接委員が無表情でも、書き込んでいても気にしない。自分のペースで言い切る。
- **退室まで面接**　カードを返すときも Here you are.、最後は Thank you very much. Goodbye. ドアを出るまで笑顔で。（Thank you very much. Goodbye.）